



くくぬち TUSHIN

第86号

(2017年 11月 6日)

第9条の会・沖縄うまんちゅの会

共同世話人： 安里昌栄 佐久川政一

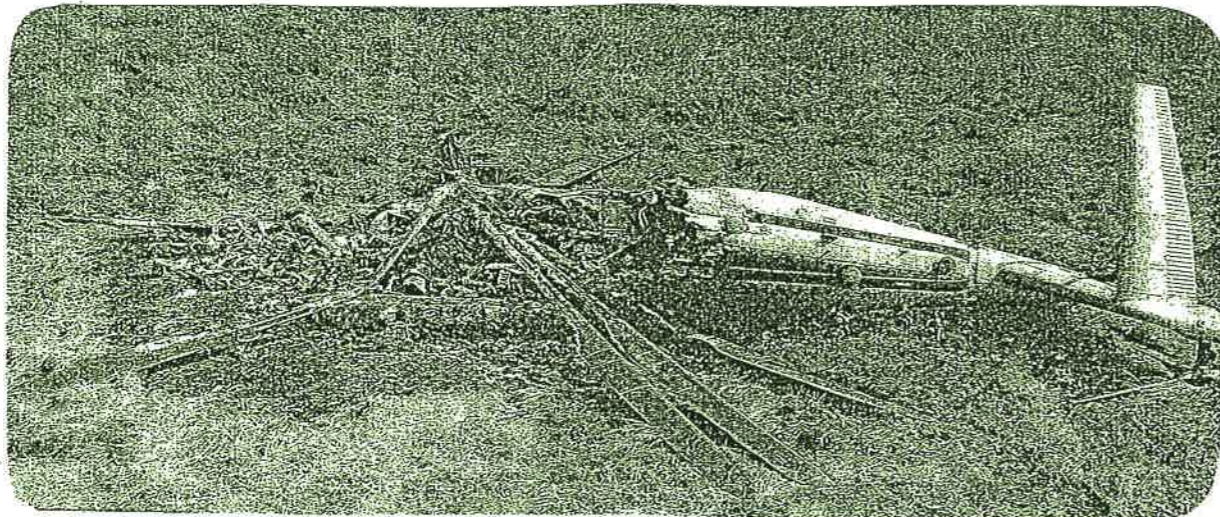
高作正博 照屋盛行

連絡先：北中城村喜舎場159 安里方

090-9787-8821

「くくぬち」は憲法九条の九です。平和を希求する「うまんちゅの会」の思いをこめました。

糾弾！高江米軍へリ炎上！



2017年10月13日 琉球新報

憲法改悪反対・辺野古新基地建設を阻止しよう！

うまんちゅの会のみなさん。

今回の衆議院選挙で安倍政権は、北朝鮮への恐怖心や敵愾心をあおり、「国難突破」を叫び圧勝しました。自公あわせて衆議院313議席を確保してしまいました。いまや国会は「日本維新の会」「希望の党」を含め、「改憲勢力」が八割を占め、戦前の「大政翼賛会」と見まごうばかりです。

いよいよ安倍政権は憲法改悪に大きく踏みだそうとしています。

11月 1日、安倍首相は早速記者会見を行い憲法改悪の具体的な条文作成に着手すると「豪語」しています。安倍政権が憲法九条三項に「自衛隊の記述」を加えるのはあきらかに憲法九条を葬りさり、日本を戦争のできる国に造りかえるためです。この安倍政権の凄まじいまでの暴挙を決して許してはなりません。

うまんちゅの会のみなさん！憲法改悪反対の闘いと共に、朝鮮核戦争反対、辺野古新基地建設阻止の闘いをここ沖縄から更に強化していきましょう！

映画『知事抹殺』の真実を観て

会員 親盛

9月26日南風原中央公民館で『知事抹殺』の真実というドキュメンタリー映画を観る機会がありました。是非たくさんの人に観てもらいたい映画です。「収賄ゼロ円」の有罪判決は前代未聞、「国に抗う者は抹殺する」という国家の暴力をまざまざと見せつけられました。

福島県の元知事佐藤栄佐久さんは元々、自民党の保守政治家ですが、地方分権や原発政策をめぐる国や東京電力と激しく対立していたため狙われたのです。それは、知事の弟の取り調べの中で「知事は日本にとってよろしくない、いずれ抹殺する」と検事からの脅し文句が物語っていました。

東京拘置所の取り調室で東京地検特捜部の検事から自白を迫られ、知事の支持者が次々と特捜部に呼び出され取り調べを受け、それによって自殺未遂者も出てしまい、「自分ひとりが罪をかぶって支持者が助かるなら」と虚偽の自白をしてしまったという、こわい事件！検察が強引にストーリーをでっちあげて、狙った人を無理矢理ストーリーにはめ込んで犯罪者に仕立てあげるといふ冤罪事件です。

それだけではありません。東京高裁判決は「賄賂の金額ゼロ円」と認定しながら、特捜部の顔も立てて、「実質無罪の有罪判決」を出したのです。「司法の中立、公正とは何なのか？」「日本は民主主義国家なのか？」と怒りの声をあげたくなったのは私ひとりではなかったと思います。

桜並木の花が満開している帰還困難区域のゲートを前にして、沖縄出身の方が「佐藤栄佐久さんが知事を続けていたら、福島の悲劇は無かったかもしれない」とおっしゃっていた事が印象的でした。

この映画を観て、福島と沖縄は似たような状況にあり、安倍政権に対立している沖縄の県知事も狙われ罾が仕掛けられるか予断を許さないと思いました。さらに、山城博治さんの長期拘留にみられるように人権問題、「共謀罪」法などと、辺野古や高江の問題と決して無関係ではありません。断じて国のいいなりにはならない佐藤栄佐久さんの勇気に学び、私は辺野古や高江に新基地を絶対つくらせない決意を新たにしました。

会員の皆様へ



連日の闘いが続いていますがお元気でしょうか
2017年の年会費を下記の口座に振り込んでくださるようお願いします。

沖縄県労働金庫 コザ支店

店番号：958

普通 口座番号：3017956

第9条の会・沖縄うまんちゅの会

年会費：2000円（2017年4月～2018年3月まで）



追悼

米国で「第九条の会」を設立された
オハイオ大学名誉教授、チャック・オーバービー博士

オーバービー博士が、2017年9月18日にお亡くなりになりました。
享年91才でした。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

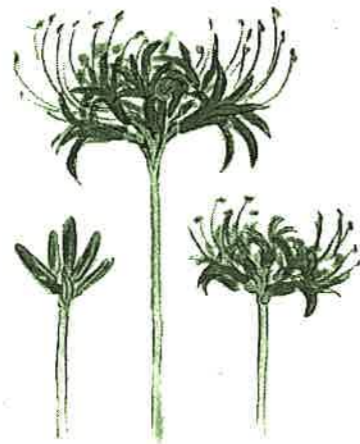
博士は、日本国憲法9条を世界の宝として絶賛し、1991年にアメリカで「第9条の会」を設立、アメリカの憲法にも戦争放棄を明記すべきだと主張すると共に、戦争放棄を謳った日本国憲法9条の意義を国境を越えて全世界に訴え続けてこられた方です。日本においても博士の呼びかけに応じて愛知県中部大学元副学長であった故勝守寛さんが事務局を努め1993年に「第9条の会」を結成しました。それ以後私たちは憲法改悪反対の闘いを博士と共に推し進めてきました。

博士は、全国各地で講演会活動を精力的に行いました。沖縄にも二度来沖され、2003年11月北中城村公民館での講演会は大盛況に終わりました。そして同日、博士はラムズフェルド(米国防長官)来沖の抗議集会にも参加し、自衛隊のイラク派兵に怒りの声を発しました。又2007年6月二度目の来沖の際に沖縄国際大学での憲法講演会は感動的でした。博士は学生に向かって「安倍政権は日本を普通の国にしたいと言う」「普通の国とはアメリカのように全世界を武力で支配する国のことです」と安倍政権の憲法改悪の狙いをあきらかにし、憲法を改悪させてはならないことを強く訴えました。

更に学生に対して、「若い皆さんは戦争体験がないので、戦争の本当の恐ろしさを理解することは難しいかもしれないが、先輩方から学んで戦争の恐ろしさを理解してほしい。そうすれば憲法9条の大切さがわかります。」と熱烈に訴えていました。

オーバービー博士は、64前の1953年朝鮮戦争当時、軍の命ずるままB29爆撃機のパイロットとして、3日に1度の割合で嘉手納基地から朝鮮へ空爆を行いました。1981年に広島原爆資料館を訪れて地上での被害の惨状を知り、自分もアメリカの戦争政策に加担していたことに衝撃を受け、このことを契機にして、自らを転換したと語っていました。

うまんちゅの会のみなさん！私たちは安倍政権が憲法を改悪し、アメリカと共に、朝鮮核戦争にうってでようとしているこの時に、オーバービー博士の反戦魂に学びつつ、憲法改悪反対の闘いを共につくっていきましょう。



辺野古新基地建設止めるぞ!資材の海上搬入阻止! 「土曜日県民大行動」に1000人を超えて結集

10月7日(土)、キャンプ・シュワブゲート前には早朝からの抗議座り込みの労働者市民を先頭に、「新基地建設、絶対に許さんぞ」と決意も固く続々と結集してくる。オール沖縄会議主催の「土曜日県民大行動」の抗議集会に開始時間の正午前には1000人を超えて結集、国道329を挟んで通りすぎるYナンバーや軍車両に対して「戦争反対!」「軍事基地撤去!」の怒りのシュプレヒコールを一斉に叩きつけました。

開会の挨拶に立った稲嶺進名護市長は、沖縄の声を一切無視し足蹴にしている日本政府と米政府に対して強い憤りを表明した上で「どんなに強い権力が来ようとも、私たちは勝つまで絶対に諦めない。阻止するまで、最後まで頑張ろう」と力強く訴えました。また弁護士と共に集会に参加した山城博治沖縄平和運動センター議長は、久しぶりのゲート前で共に闘った仲間たちを前にして高ぶる気持ちを抑えるようにしかし力強く「緩やかに、しなやかに、笑顔で歌って、権力を笑い飛ばし闘い続けよう」と訴えました。この山城博治議長の訴えに盛大な拍手で応えました。

沖縄防衛局 海上から資材搬入企む

政府防衛省は、9月27日、名護市辺野古の新基地建設に使う石材などの資材を海上から搬入する方向で検討していることを明らかにしました。台船一隻当たりダンプカー約190台分が可能という。

この事態は、私たちのキャンプ・シュワブゲート前での闘いや海上でのカヌー隊の決死の闘いこそが政府・防衛省を追い詰めていることに他なりません。

許しがたいことに沖縄防衛局は、辺野古崎南側のN5、K1護岸の造成工事を、環境省のレッドリストに掲載されている絶滅危惧種の「オキナワハマサンゴ」が見つかっているにもかかわらず工事を強行しようとしています。「サンゴがなんだ!」とばかりに環境破壊を一切省みず工事を強行しようとする沖縄防衛局に対して、私たちは全国の仲間たちへも呼びかけて闘いのさらなる強化を造っていきましょう。

嘉手納へのステルス戦闘機F35A配備許すな!

うまんちゅの会のみなさん!10月24日、朝鮮核戦争の危機がいよいよ高まる只中で、米軍嘉手納基地第18航空団は、11月から半年間、最新鋭ステルス戦闘機F35A12機を嘉手納基地に配備すると発表しました。米空軍は「増大する脅威に対してグローバルで正確な攻撃能力の提供」だと強調しているが、トランプ大統領の来日に備えて北朝鮮への牽制と威嚇であることは明らかです。私たちは相次ぐ米軍航空機の事故を糾弾すると共に、ステルス戦闘機F35A配備に反対し一切の軍事基地反対のたたかいを辺野古新基地建設阻止の闘いとともを一層強化して頑張りましょう!

2017年10月8日 琉球新報

